

特集

生活習慣病の 受診を促す 保健指導



「受療行動促進モデルによる 保健指導プログラム」の成果

厚生労働科学研究の「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」(J-HARP)では、生活習慣病重症化ハイリスク者に対して「受療行動促進モデルによる保健指導プログラム」を用いた保健指導(受診勧奨)を行い、受診率向上などの効果が見られた。この研究の概要と成果、介入プログラムの具体的内容や評価を紹介する。また、介入自治体における取り組みや成果についても報告する。

- 生活習慣病重症化予防のための受療には保健指導が有効
戦略研究の成果から
- 「受療行動促進モデルによる保健指導プログラム」の紹介
- 重症化ハイリスク者に対する保健指導の
効果検証研究(J-HARP)
「受療行動促進モデル」の評価と意義

【介入自治体からの実践報告】

- 現状を打開し、重症化ハイリスク者を守るために
佐渡市の取り組み
- 戦略研究で得たことを活かし、重症化予防事業を展開
高槻市の取り組み
- 保健師の原点に立ち返らせてくれた戦略研究への参加
青森市の取り組み